

一色之面社家一人あり、姓古唐、月白髪水と
いふあり——と古人云傳へ傳へる、その初傳へ
たる社もや、五代まで領主を數へ、あひ五代
末とあり——と云

一 加茂祖

加茂村、今泉村、津戸村、今沢村、越る二百七
十三石、三十九合

一 加茂村

佐金、の池、船、當、中、に、入、津、に、俗、加、茂、浦、といふ
一、社、和、赤、雅、出、羽、の、部、小、額、湊、といふ、い、あ、く、ま、や

領より役人を至るお入の恥を改む、又唐恥
羞屋あり、山より湯石の親善堂あり、凡、桑、の、地
なり、
貞安二年、茂茂家の弟、創、寛永九年、天龍、移、人、再、興、と云

一 春日社

同村よりあり、額に春日と書、古部、の、春日、ハ
け、神、の、根、え、あれ、た、と、号、
勅、許、な、——、俗、王
法、を、志、し、ん、根、よ、子、号、を、稱、也、
延喜式、神、名、帳、に、
三、号、の、神、と、て、十
二、社、ち、と、て、い、か、——と云

一 山居

今泉村にあり、名、仏、神、の、石、場、なり、月、蓋